

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 安城市立東山中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒446-0001
愛知県安城市里町東山1

E-mail : higashiyama@anjo.ed.jp

Website : http://www.anjo.ed.jp/~higashiyama/

児童生徒数：男子 400名 女子 382名 合計 782名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

・地域の方々とホタルを飼育、観賞会を実施

地元を基盤にしている企業に協力をいただき、学校内でホタルの幼虫を飼育しました。6月には、学区で環境保護活動をしている「里の自然を守る会」の方々と協力して、ホタルの観賞会を開催しました。延べ100名以上の地元の方々が訪れ、苦労して育てたホタルを鑑賞してくださいました。「昔はこのあたりにも



ホタルを飼育している小屋

ホタルがいたんだよ。」と生徒に語りかける方も大勢おり、生徒たちはなぜホタルが見られなくなってしまったのか考えていました。観賞会では多くの方々に楽しんでいただいたホタルですが、その先の産卵までには至りませんでした。ホタルの飼育環境を改良し、産卵、孵化、そしてまた成虫へとサイクルをつなげることが来年度の目標です。



ホタルの観賞会

また、「里の自然を守る会」が発光生物の研究をしている大学教授を招いて開催した講演会にも参加をし、ホタルが発光する仕組みや、ホタルミミズなどの身近な発光生物について学習しました。

・地域の水質調査、生物調査を実施

地域を流れる猿渡川、明治用水の支川の5か所で水質調査と生物調査を行いました。水質調査の結果、CODは4か所で約5mg/l、1か所で約10mg/lとなりました。指標生物については、1か所で、シジミが見られる「少し汚れている」でした。他の3か所では指標生物を発見することができなかったものの、1か所だけCODの値が高かった1か所では、アメリカザリガニやエラミミズが生息する「大変汚れている」という結果になりました。市の下水道マップで調べたところ、下水道が整備されていない場所であることが分かりました。



生物調査の様子

生物調査で捕獲したカマツカ、オイカワ、ギンブナを、学校のビオトープで飼育することにしました。ビオトープには、地域で捕獲した在来種のみを放流することにしていきます。捕獲した生物はアメリカザリガニやカダヤシが多く、在来種はあまり捕獲できませんでした。自然が多く残る東山中学校校区でも、外来種の侵入によって生態系が崩れてきていることが分かりました。



捕獲したカマツカ

・エコ農業を実施

中学校内の畑で、野菜の栽培を行いました。農薬や化学肥料を使わないエコ農業に挑戦し、様々な野菜を栽培しました。収穫した野菜は生徒たちで試食をしたほか、職員室の教員にも振る舞いました。



試食会の様子

・ESD ユネスコ世界会議の子ども会議に参加

本年度名古屋市で開催された、ESD ユネスコ世界会議に、環境ボランティア部の代表2名が、参加しました。2名は、夏休み中に行われた JICA 中部への訪問、トヨタの森や矢作川での実習などの各エクスカージョンによって、環境への関心を高め、知識を深めることができました。2名の学習の成果は、他の部員にも共有され、そこから得た知識ももとに、東山中学校の環境への取り組みをまとめ、10月26日に行われたポスターセッションに参加しました。生徒たちは、多くの方々に取り組みを広め、また、他の学校の取り組みを知ることで、新たな取り組みへの興味も高めていました。



ポスターセッションの様子

11月10日には子ども会議が開催され、代表2名が、他校の代表生徒たち全員で協力して作り上げた宣言文を発表することができました。子ども会議は、代表以外の生徒たちも参観しました。



グループ討議の様子

子ども会議を終え、生徒たちは「自分の考えとは違う意見がたくさんあり、そのどの意見にもしっかりと理由があった。そういう意見を聞いたときに、そんな見方もあったのかと、大発見をした気分になった。」と、参加した意義を見出していたようでした。



子ども会議の様子

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()